

福運整第556号
令和3年12月17日

一般社団法人福井県トラック協会会長 殿

中部運輸局福井運輸支局長
(公 印 省 略)

大型車の車輪脱落防止について（依頼）

平素より運輸行政に格別のご理解及びご協力を賜りありがとうございます。

さて、12月7日に開催された交通事故・労働災害防止大会において、当支局より大型車の車輪脱落防止についてお願いをしたところです。

令和2年度には国内において過去最大の131件の車輪脱落が発生していますが、その6割強が冬期に集中し、さらにその6割弱が車輪脱着作業後1ヶ月以内に発生しています。このため、当支局といたしましては、冬用タイヤ交換後の増し締め及び緩みやサビの点検など基本的な作業が重要なことと認識しております。

また、11月に県内事業者より車輪脱落が発生したとの報告を既に2件受けております。

つきましては、車輪脱落を防止するため次の事項について、あらためて貴会傘下会員に周知いただきますようよろしくお願いします。

1. 日常点検において、ホイール・ナット及びボルトの緩みの点検を的確に実施すること。特に脱落が多い左後輪は重点的に点検を実施すること。
2. 大型車のタイヤ交換後は50km～100km走行後、増し締めの点検を確実にを行うこと。
3. 運転者が目視で容易に緩みの点検が行えるよう、ホイールボルト及びナットへのマーキング等を行うこと。